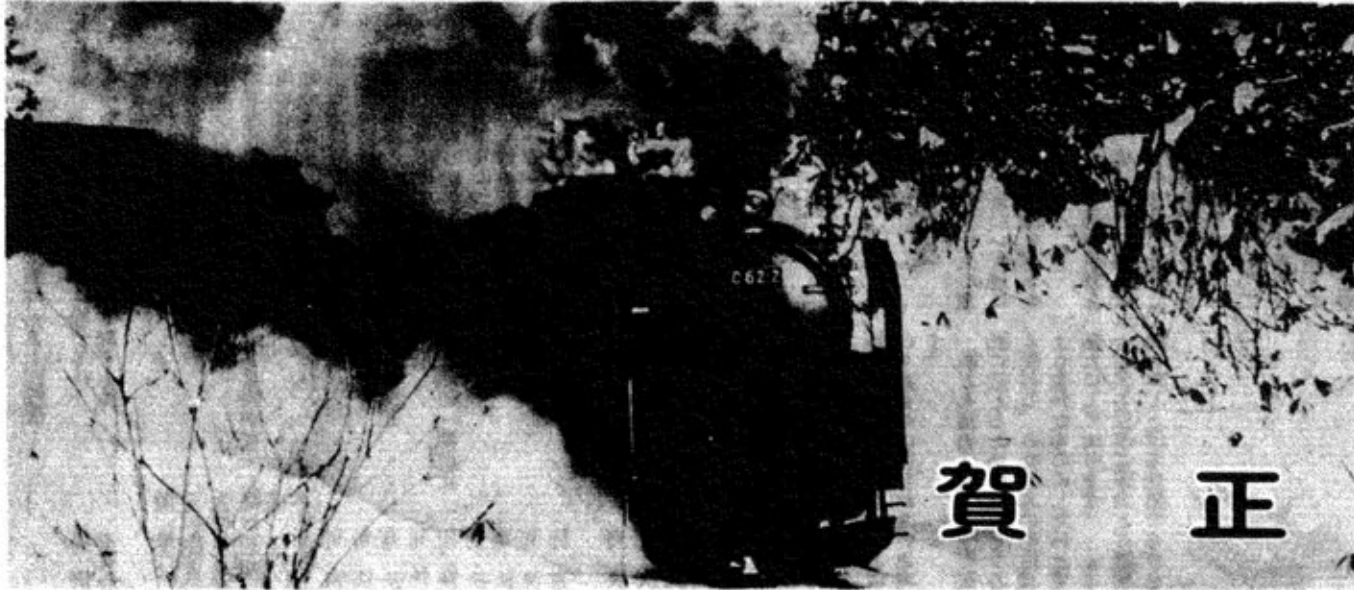


町の人口	(11月末)
世帯数	1,550 (+9)
人口	3,411 (+13)
男	3,347 (+5)
女	6,958 (+18)
計	()は10月末との比較

広報かわぐち

No. 6
 発行所 川口町公民館
 印刷所 山勝堂印刷所



斗牛

産婦人科診療再開

— 県立小出病院 —

長い間休診いたし皆様方に多大な迷惑をおかけいたしておりました産婦人科は、東京医科大学産婦人科教室よりの一週間交替の出張診療により再開いたします。

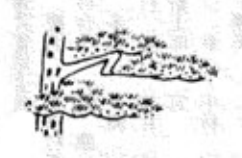
診察期間 昭和四十八年2月5日(昭和四十八年2月26日まで)
 なお昭和四十八年3月以降も継続診療出来るよう各関係方面と交渉中であります。

年頭のごあいさつ

川口町長 星野輝政

町民の皆様 明けましておめでとございます。輝やかなしい昭和四十八年の元旦を迎え、謹んでみなさんにお慶びを申し上げます。年の始めには、みなさんそれぞれ新しい目標に向けて、決意を新たにされたことと思います。私も激しく移りかわる社会情勢のなかにおいて、町民福祉増進のために、全力を傾けてまいりたいと考えております。過ぎ去った年をふりかえって見ますと、昨年も依然として物価や公害、交通などの諸問題が、私共の生活の前面に横たわり、特に衆議院議員の総選挙を通じて、真剣に論議されましたが、これが解消の一刻も早くらんことを、町民のみなさんともに念願して止みません。

さて、私は就任以来、明るく豊かな町づくりをモットーに、町民福祉増進の責任者として、生活関連社会資本の整備を主軸として、道路網の整備改良をはじめ、農業の近代化、工場誘致、過疎対策、教育効果の拡大、なにかんなく小・中学校の統合、その他、へき地豪雪対策、あるいは観光開発などを重点に町の体質改善と併せて、その施策を進めてまいりましたが、お蔭様をもちまして、その成果も着々と実現の段階に至り、まことに喜ばしい限りでございます。このことは、ひとえに町民各位の並々ならぬご努力とご理解あるご協力の賜でありまして、ここに衷心から深く感謝申し上げます。



鈴木牧之と川口の事

中山地区館長 古田島 慎市

〔北越雪譜の〕

文政三年(一八二〇)三月、牧之は魚野川を下って「秋月庵句集」にいた。「文政三辰生(三月二十一日、二十村牛の角突一見)に魚野川船中の吟」

「東の間に春も行なり下り舟」と、春の雪が水で川の水勢激しく、舟足の早い様子がうかがえるが、先の雪見行脚が寒中時(一月)のこと、水枯れて舟路の遅い。詠んだのは、対照的で面白い。

「この川口に一夜明かして、二十村なる牛角の争い見んと此の地を立ち出れば、微雨降臨として東西をわかず、泥途にり、辛くしてや、泥魚となん山坂を攀登りて、春雨や泥魚坂の二り道」

「夫より、天王の茶店に、眼下に河上を見下して、今年辰の睦月の始めつつかた、此千曲川に舟乗りして、はかなく底のみくつとなりし人の懐旧に」

「どき魂の漂ふならん浪の花」雨でついた角突き一見に及ばず天王茶屋に引き返し、信濃川を眺

望して、この川で舟にて遭難した知人の事を想ったのである。

「永代記録帳」文政三年の条に「辰正月六日、長岡丸山卯右エ門手代横死、この者に関船屋にても金十五両の誣損仕候事」とあって、名代の難所、牛ヶ島曲り、舟の難破事件があったのであろう。

「永代記録帳」同じ条に「辰三月二十一日、牛角突見物に大木六村草屋屋並びに、同村日那の内、清水屋身土荒川船重郎伴諸共と同船、片貝に一宿、翌二十二日、大木ながら、牛角存立申候故、二十村入口の神泥魚坂と云う迄、ま候へ共、亦々春雨降止まず、無後、ようやく虫亀で牛角突をつぶさに見送ることができたのであつたが、「北越雪譜」には、この海内珍敷事とした牛角合せが収められていないのである。それはいつたいていどうしてなのだろうか？ それについては次号で述べることとする。



斗牛

お知らせ

長い間休診いたし皆様方に多大な迷惑をおかけいたしておりました産婦人科は、東京医科大学産婦人科教室よりの一週間交替の出張診療により再開いたします。

診察期間 昭和四十八年2月5日(昭和四十八年2月26日まで)
 なお昭和四十八年3月以降も継続診療出来るよう各関係方面と交渉中であります。

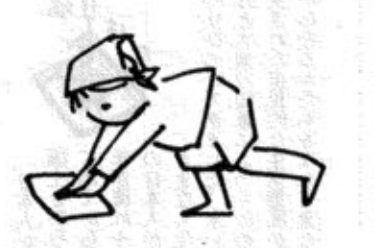
短歌

川口の秋
 蛙のぼる魚野の流れ水清く
 漁る磯場に 人影ゆらく

(伊香保一富士ホテルにて)
 忘年会等の集いは出陣伊香保
 唄う翁に煙は たどる

新春を迎えて
 汚れなき心つちかい白雪を
 踏み ふるしめ初日おろがむ

岩田原 星野輝政
 八十五才



十五の案件を議決

十二月定例会

川口町議会の十二月定例会は、去る十二月二十日に開催され別記の議案を審議して同日閉会されました。

この議会は、昭和四十七年の第七回目にあたるもので、議案ではこの定例会で昭和四十七年の行事を終って新しい年を迎えたわけですが、会議の内容は、一件の請願を審議してから、一般質問で五人の議員が質問をふるって、町の行政に対して質問しました。

- 1 請願 小高分校プール新設に関する件
2 一般質問
3 国民健康保険条例の一部改正
4 町立学校設置条例の一部改正
5 川口小給食共同調理場設置条例の一部改正
6 職員給与に関する条例の一部改正
7 常勤特別職の給与及旅費に関する条例の一部改正
8 町の境界変更について
9 県自治会館管理組合の設立について
10 職員関係一部事務組合の規約変更等(二件)
11 監査委員の選任について
12 昭和四十七年度補正予算

十二月定例会の会議事件とその結果

Table with columns: 採択 (Approval), 委員付記 (Committee note), 採決 (Decision), 採決 (Decision). Rows include items like '小見昇司議員' and '関 登代一議員'.

謹んで

新年のお祝を

申し上げます

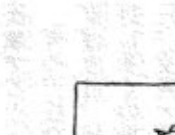
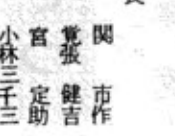
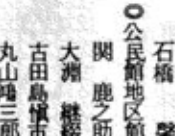
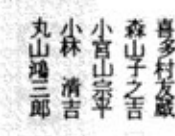
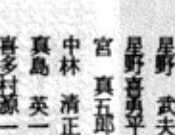
- 町長 星野 輝政
助役 石坂 久平
収入役 佐藤 精一
教育長 古田 正
外務委員 上村 正雄
副議長 上村 正雄
議長 広井 松雄
副議長 大淵 竹太郎
議員 青柳 弘
議員 堀沢 哲男
議員 江島 啓
議員 小見 昇司
議員 関 久作
議員 星野 喜男
議員 綱 与市
議員 小林 広吉
議員 原田 登喜治
議員 古田 徳八
議員 喜多村 友成
議員 山崎 良治
議員 関 登代一
議員 上村 登平治
議員 綱 直太郎
議員 喜多村 源一郎

人間中心の町政を

川口町議会議長 上村正雄



希望にあふれた新春を迎えるにあたり、みなさまがたのしみ清福と心を開き心から折り上げます。わが国は、内外に多くの問題を含みながらも、日本人の英知と良識が発揮されて、順調な繁栄のうちに新しい年を迎えました。



卒業後の状況

昭和47年度学校基本調査速報

男子より二%多い 女子進学率

男子より二%多い 女子進学率。卒業生は、昭和四十七年度の調査によると、男子が七万七千九百七十六人、女子が七万七千六百四十二人である。

年頭に想う

川口町教育長 古田 正



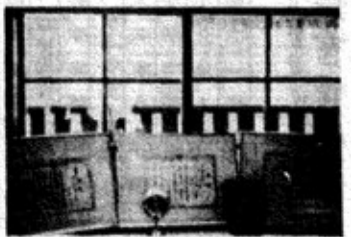
和南津小学校・川口小学校統合。八十有余年 持ちであると思います。しかし時代の变化と社会の進歩に連なり、和南津小学校と川口小学校の統合が、昭和四十七年度四月一日から川口小学校に統合することになりました。



科学クラブ生徒

田麦山中学校科学クラブが昨年十一月「サワガニの生活」についての研究発表が最優秀賞を受賞した。

田麦山中学校科学クラブ



賞状・賞品

昭和46年度 学校保健統計調査報告

—全国平均と比べてみよう—

幼児、児童、生徒の体位の全国平均値

区	分	身長			体重			胸囲					
		46年度 cm	5年平均 cm	差 cm	46年度 Kg	5年平均 Kg	差 Kg	46年度 cm	5年平均 cm	差 cm			
男	幼稚園	5才	110.1	109.1	1.0	18.7	18.3	0.4	55.9	55.8	0.1		
		6才	114.8	114.0	0.8	20.2	19.9	0.3	57.2	57.0	0.2		
		7才	120.1	119.6	0.5	22.4	22.1	0.3	59.0	59.0	0		
	小学校	8才	125.5	124.8	0.7	25.2	24.6	0.6	61.5	61.1	0.4		
		9才	130.6	129.7	0.9	27.9	27.1	0.8	63.7	63.3	0.4		
		10才	135.5	134.6	0.9	30.8	30.0	0.8	66.0	65.5	0.5		
		11才	140.8	139.7	1.1	34.2	33.2	1.0	68.4	67.8	0.6		
		12才	147.3	146.1	1.2	38.9	37.8	1.1	71.4	70.6	0.8		
		中学校	13才	154.4	153.2	1.2	44.3	43.2	1.1	75.1	74.4	0.7	
			14才	160.9	159.6	1.3	50.1	48.8	1.3	79.2	78.4	0.8	
	女		幼稚園	5才	108.9	108.1	0.8	18.2	17.9	0.3	54.6	54.4	0.2
				6才	113.7	113.1	0.6	19.7	19.4	0.3	55.7	55.5	0.2
		7才		119.3	118.7	0.6	22.0	21.6	0.4	57.5	57.4	0.1	
		小学校	8才	124.7	124.0	0.7	24.6	24.1	0.5	59.9	59.5	0.4	
9才			130.3	129.4	0.9	27.5	26.9	0.5	62.3	61.7	0.6		
10才			136.4	135.4	1.0	31.1	30.4	0.7	65.1	64.6	0.5		
11才			143.2	141.8	1.4	36.0	34.9	1.1	69.2	68.3	0.9		
12才			158.5	147.6	0.9	40.9	39.9	1.0	73.3	72.4	0.9		
中学校			13才	152.4	151.4	1.0	45.3	44.3	1.0	76.7	75.8	0.9	
			14才	154.2	153.4	0.8	48.4	47.5	0.9	78.9	78.3	0.6	

文部省がまとめた全国平均値をお知らせします。調査によると特に小学校高学年から中学生にある児童生徒の向上は著しく、たとえば身長については男子の中学生(十二才)と女子の中学生(十二才)とで一・三〇センチ、女子の小学校高学年から中学生(十才)とで一・〇五センチ、四センチと目だって向上している。

交通知識・その(2)



大型トラック転落事故

1. 渋滞車の側方を通過するとき
渋滞している車両の側方を通過するときは、右側のスペースを十分とって、徐行するなどして進行することが必要である。
2. 先行情車に注意せよ
先行情車の合図に注意することはもちろんであるが、先行情車が突然停止するときもある。このときあなたは後方と先行情車を追いつくようでは防衛運転者たる資格はない。このようなときは、先行情車の停止を待たず、一旦ブレーキを踏んで、先行情車に合図を知らせよう。
3. あなたの目は眠っていない
事故を呼ぶ、酒は飲むまい、のままい、ということがある。酒を飲んで運転することは、法律で禁じられている。酒を飲んで運転中、対向車のライトが目くらむと約三十秒間は視力が回復しない。四十キロで走行中なら三十三メートルは完全なメクラ運転である。私は大丈夫と思っても酒はあなたの目を、そして手足を眠らせてしまう。酒を飲んだら車を置いて鍵をあずけて帰らう。
4. 交通事故は防げる
田舎の道を行くと「落石注意」という注意書きをみかける。ある意味で大変評判のわるい看板である。ドライバーはどうな方法でそこを通過すれば安全なのかわからない。事故を分析すると必ずすまじゅうとした不注意が加害者、被害者の両方にある。それが他の原因と重なり合って起こるものである。

運転を習い始めたころはスピードが出すぎてふらふらと酔って、たはす。時は場所によってはこの運転がもっとも大事なのである。アクセルペダル足を乗せる前に必ずブレーキペダルを踏むこと

あなたの家の備えは万全ですか!

冬の朝から晩まで火を使っている家は、もしも火災が起きたら、再建には多額の資金が必要で、万一に備えて時価一杯の建物共済にお入り下さい。加入できる最高額は一棟あたり五百万円までですが、一部別荘が加入できます。総合共済は一棟五百万円まで加入できます。

おもな原因は煙草、ストーブ
おもな原因は煙草、ストーブ、ガス、石油、電器、こたつ、風呂、かまどなどの不始末がほとんどで、一方加入成績も首長の建物共済に比べて二倍、三倍以上です。火災共済の補償額は、火災共済の補償額のほかに、風水害、雷害、土砂崩れ、崖崩れ、地蔵りなどの自然災害によって損害をうけるにも共済金を支払います。

契約期間は……
掛金をかけた日の午後四時より始まり翌年のその日の四時までの一ケ年です。

○こんなときにも共済金を支払います。
火災共済に加入したとき、爆発、車の衝突、船沈没のついで、騒ぎようなどで損害を受けた場合、



悲惨な火災現場

けたときにも共済金を支払います。共済金の支払いは……
たとえば三百万円に加入していれば、全焼の場合、三百万円、半焼で百五十万円(損害に応じて)、共済金の支払いは一日も早く再建されるよう誠意をもって迅速に支払いを旨としております。

(写真は新築草々災難に)

「公共領収証の完全受領強調月間」

料理飲食等消費税のため、十二月十一日から一月十日までの期間を「公給領収証受領強調月間」として推進しています。このため経営者が利用者から受取った税金や売上金の額をばりきりさせるため「公給領収証」を、利用者へ渡す制度になっていきます。

この公給領収証制度は、実施されてから十数年を経過していますが、県ではこの制度の認識をさらに深めていただ

料理飲食等消費税のため、十二月十一日から一月十日までの期間を「公給領収証受領強調月間」として推進しています。このため経営者が利用者から受取った税金や売上金の額をばりきりさせるため「公給領収証」を、利用者へ渡す制度になっていきます。

この公給領収証制度は、実施されてから十数年を経過していますが、県ではこの制度の認識をさらに深めていただ

(小千谷財務事務所)

日本人がこの国土をひらきはじめから幾千年が流れてきた。日本人がさまざまな人生路をくりひろげてきました。水いれい年月と大衆の知恵によってためた工夫された庶民的生活態度が、おのずからなるかたちをなして来た。

世界みな、われもまたこの我こそ、天上にも天下にも、我にまさりて尊きものはない、という自覚は、机上の思索によるものではなく、封建制下の百姓一宮金次郎が骨身にしみ体験から開眼したものであります。

父母もその父母も我身なり
我を愛せよ、我を敬せよ
天下天下唯我独尊と題する次の一首は尊徳の思想の深さを示すものである。

天地の和して 一輪福寿草
咲くやこの花世世経るとも
一輪の福寿草をみつめる哲人尊徳の姿がうかびます。

二百餘年で百使い、百を後日のために、人のために譲ることが人道の極意であり、生活の定石であります。小を積み重ねて大となす物のにも、心の人も人のために譲ることが今日ほど切実に感じられるときはない。

われわれがこの社会に住むかぎり、やはり共同生活を営み、お互い知恵を高め、それを活用し真に快適な生活環境の改善をはかってゆきたい。今日科学や知識の発達にもかかわらず公害の発生など大きな問題があるが知恵と知識を結集して豊かな生活を送りたい。